

エが 公民館報

第318号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,945	世帯
人口	4,515	人
男	2,180	人
女	2,335	人

(平成30年9月1日現在)

昭和、平成、そして…
昭和六十二年の第一回から
平成最後の開催です。
途絶えることなく三十三回

四賀コンサート開催



西日本の豪雨災害、全国的な猛暑、大型台風二十一号、北海道地震などの天災が相次ぐ中、九月八日に四賀コンサートが行われました。「昭和、平成、そして…」と題された今回は平成最後の開催となりました。

最初に松本交響楽団のロシアニ作曲「アルジェのイタリヤ女」序曲、ハイドン作曲の「交響曲第九十九番変ホ長調」が演奏され、場内より多くの喝采がありました。続いては鼓龍会虚空蔵太鼓の「咆哮」と「花燃ゆる」が本当に燃えているような迫力をもって演奏されました。



会田中3年生

会田中1年生

鼓龍会虚空蔵太鼓



四賀コンサート合唱団
東部コーラスオーロラ

会田中2年生

四賀小学校5年生と6年生

休憩をはさみ、四賀小学校五年生・六年生による「地球星歌」が歌われました。五年生の出演は今年が初めてです。指揮は古田先生です。

続いて会田中学校一年生の「明日の空へ」二年生「COSMOS」指揮は日比野先生です。三年生「IN TERRA PAX」の指揮は生徒の宮川君です。

四賀コンサート合唱団・東部コーラスオーロラはタイトルにちなみ、昭和の歌「青山脈」「リンゴの唄」と平成の歌「さようなら」「花は咲く」「HEIWAの鐘」を合唱しました。



松本交響楽団

最後は四賀小学校五年生・六年生、会田中学校生徒も登場し「大地讃頌」と「四賀秀麗」を全員で合唱、第三十三回四賀コンサートは幕を閉じました。

この公演は、大掛かりなセットを建て込むのではなく、旅行鞆ひとつでお芝居を詰め込んで、ふらりと訪れた先で上演する…そんな作品を創り、どんなところでも劇場空間とするというところで、旧議場であった大会議室が会場となりました。

今回上演された「或いは、テネシーワルツ」は、芸術館の芸術監督である串田和美さんのほぼ一人芝居で、過去や現在、未来からも逃げ出したい可笑しい男の物語で、串田さんのもつ希有なトリック・スター的存在に焦点を当てたオリジナルストーリーでした。

五〇名の定員を超える人が集まり、串田さんの不思議な世界に引き込まれていました。

まつもと市民芸術館が
四賀の里に出現した？
身近な場所で演劇を
トランクシアター上演



トランクシアター2018
テネシーワルツ



四賀小学校金管バンド パレードが中止になって残念

猛暑の中、七月二十一日、今年も「四賀夏まつり」が開催されました。あまりの猛暑に四賀小の金管パレードは中止。開幕式後のステージ演奏から始まりました。今年のステージにはおひさまレディースの踊り、五常地区に昨年から移住の佐藤さん権頭さん夫妻のユニット「3日満月」の演奏と歌、クラウン・ボムさんの道化師芸、モナ&ルイの歌謡が練り広げられ、四賀ソングと松本ぼんぼんの踊りの輪の後、花村佑子さんのコンサート、会田中学校生徒の発表、035のバンド演奏、四賀鼓龍会虚空蔵太鼓の演奏と続きました。最後はたくさんの花火が四賀の夜空を彩り、まつりは終わりました。

四賀夏まつり



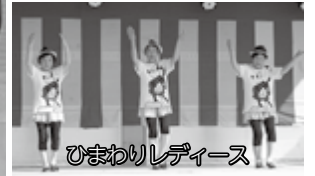
緊急消防援助車
大規模災害時における緊急消防援助隊の応援出動などの後方支援をするための車両です。展示されました。

四賀が生んだ歌姫 花村佑子さん

70年代アイドル? mona&ルイ?



3日満月素敵な演奏と歌を披露



ひまわりレディース

会田中学校の生徒が七月十七・十八日に5年ぶりに復活した燕岳登山を行いました。一・二年生四〇名が挑戦し、四賀公民館の「松本らしいコミュニティスクール事業」として、地元のボランティアの倉品喜好さん、本郷剛史さん、坂本英明さんが参加しました。倉品さんは「中学生の時の登山の体験が忘れられず、四賀から見える山はすべて登ってきました。今回、中学生と登り、その頑張りから元気をいただきました。生徒全員が互いに声をかけあい、協力した気持ち忘れずに、山が好きになってほしいです」と話してくれました。今年市内公立中学校二〇校の内、燕岳登山を実施したのは五校だけとなっています。

今回はタレントの松山三四六さんも一緒に登り、その模様を三四六さんのオフィシャルサイトで公開しています。

5年ぶり挙行 燕岳登山

田中学校 会中

四賀地区担当 伊東 裕輔 保健師

四賀支所にいます!

- 10月 1日(月) 健康相談日
- 10月15日(月) 在籍
- 10月22日(月) 在籍
- 10月29日(月) 在籍

お電話でご確認ください。



民話フエスチバルに参加 福寿草劇団 民話劇

四賀の福寿草劇団が、九月九日にまつもと市民芸術館小ホールで開催された民話フエスティバルに出演しました。今回は十二名の団員が「丸山どぶの河童」を上演。効果音に佐藤夫妻による生演奏も加わり、コミカルな演技とせりふで観客の笑いを誘い喝采を受けました。

十一月十八日に開催される「生涯学習フエスティバル」でも上演されます。一緒に楽しむ団員も募集中です。

湧き水

▼最近同年代の旧友 数人と会う機会があり、話が弾んだ。話題は年を重ねるにつれ変わってきた。孫の動画をスマホで見せてくれる友もいる。親の介護という

の必ず出る話題の一つだ。▼近頃は認知症の心配をする友も増えた。親の、ではなく、自分の認知症の心配だ。人の名前がとっさに出てこない。漢字を忘れる。何か用があつて二階に上がったはずなのに思い出せない。一人が経験談を話すと、皆が「あるある」とうなずく。「ああ、良かった。皆同じなんだ」と安心しつつ、でもこれって認知症の前段階なのではと不安になる。▼そこでちよつと調べてみた。前述したような「ド忘れ」は一時記憶領域の衰えから来るものらしい。認知症に直結するわけではないが、脳の衰えの一種には違いない。放置しておくのはまずい。対策の一つではないが、多くの研究者が効果的な運動習慣や新しいことへの挑戦だ。まず週二回のウォーキングから始めてみることにした。